

2017～2018 年度



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立：1976 年 5 月 11 日

会 長：長谷川真也

副 会 長：鈴木英男

幹 事：大島直幸

会報委員長：関雄二郎

第 2046-47 回 例会記録 No. 31

平成 30 年 4 月 11 日

司会：近藤 慎悟 編集：近藤 慎悟

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. ロータリーの目的 市川 洋和 会員
4. お客様紹介 認定 NPO 法人
かものほしプロジェクト
広報・ファンドレイジング担当
草薙 直基 様
保坂 光葉 様
5. 会長卓話
6. 幹事報告
7. 3 分間ロータリー情報 松崎 義一 会員
9. 委員会報告
クラブ運営部門 本間 睦人 会員
親睦委員会 大濱 裕広 会員
プログラム委員 江口 公晴 会員
次年度幹事より 中澤 伸浩 会員
10. スマイル報告
11. お客様卓話

「子供が売られる問題について」

次回例会案内 平成 30 年 5 月 9 日

結婚記念・誕生祝い

四つのテスト

会長卓話



長谷川 真也 会長

本日の卓話は、橋本会員に協力してもらい越谷市の今年度の越谷市の予算について卓話いたします。越谷市においては、個人市民税で若干の増収が見込まれるものの、3 年ごとの評価替えにより影響を受ける固定資産税が減収となるなど、歳入の確保が非常に厳しい状況にある。

一般会計予算は、対前年度比 1.2%増の 915 億円、さらに各特別会計と病院事業会計を合わせた全会計の予算総額は、対前年度比 3.3%減の 1,684 億 8,200 万円。

第 4 次越谷市総合振興計画の大綱に沿って、主要な施策は大綱 1「市民とつくる住みよい自治のまちづくり」

- ・越谷市版図柄入りナンバープレートの導入
- ・大沢地区センターの魅力ある施設整備
- ・市本庁舎について、新庁舎の建設に向けて、現

在の本庁舎の南側低層部分の解体工事に着手すると共に、新庁舎建設基本設計に基づいた実施設計を行う

大綱 2「だれもが健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」

- ・新たな保健センターの建設工事に着手(事業費 549,000 千円)
- ・子育て世代包括支援センターの設置
- ・「(仮称)越谷市子どもの貧困対策計画」を策定するため、貧困の実態について調査等を実施
- ・大相模保育所の建て替えに向け基本設計を行う
- ・越谷レイクタウン駅近傍に、3 か所目となる保育ステーションを開設(30 年 4 月)
- ・花田学童保育室の増築工事(52, 334 千円)
- ・重度心身障害者手当の支給対象者に精神障害者保健福祉手帳 2 級所持者を追加

大綱 3「事前と調和し質の高い都市機能を備えたまちづくり」

- ・道路照明灯の LED 化の一層の推進
- ・路面下空洞調査の実施
- ・都市計画道路の“越谷吉川線”及び“川柳大成町線”の整備推進とともに、“健康福祉村大袋線”の延伸に着手
- ・北越谷駅及び新越谷駅のホームドア整備に対し、国、県と連携し鉄道事業者への支援を行う
- ・平方公園の拡張計画を進めるとともに、(仮称)増林公園及び地域に身近な公園の整備
- ・綾瀬川緑道のほか、元荒川及び新方川の緑道整備を「川の国埼玉はつらつプロジェクト」に基づき、県と連携して取り組む
- ・空き家等対策計画の策定

大綱 4「人や環境にやさしく安全・安心な生活を育むまちづくり」

- ・レイクタウン駅前交番の新設に併せて、大相模交番跡地に「大相模安全安心ステーション」を整備
- ・谷中分署に自家用給油取扱所を整備

- ・大規模災害時に後方支援活動等を行う機能別消防団を新たに設置

大綱 5「安心して働ける環境を育む持続的で躍動するまちづくり」

- ・市の魅力発信について、「こしがや愛されグルメ発信事業」を実施し、食を中心とした魅力の掘り起こしに取り組むとともに、「都市イメージ向上事業」を新たに立ち上げ、地域での暮らしをテーマに多彩な魅力を編集、発信し、ブランド力の向上及び郷土愛の醸成を図る
- ・越谷駅東口高架下に整備した観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において、本市及び東武鉄道沿線自治体等の魅力を発信すると共に、徳島市並びに大船渡市、東松山市及び名取市の東北被災地等との観光物産交流を実施し、地方創生を踏まえた、集客、送客、交流事業を展開
- ・流通、工業系土地利用事業(荻島地区)(23,000 千円)企業誘致を視野に入れた新たな産業用地創出に向けて企業ニーズの把握に努めると共に、県など関係機関との緊密な連携を図りながら、流通、工業系土地利用を着実に推進

大綱 6「いきいきとだれもが学べる心豊かなまちづくり」

- ・教職員の負担軽減について、校務の効率化を図るため「校務支援システム」の活用を推進
- ・通学区域内の児童数の急激な増加に対応するため、川柳小学校校舎の増築に向けて取り組む(30 年度は基本設計及び実施設計並びに地質調査を行う)
- ・小学校トイレの洋式化を推進

その他

- ・道の駅(増林地区)整備事業(6,240 千円)調査委託料、報償費

道路利用者のための休憩機能や、災害時の避難場所としての防災機能、本市のもつ魅力や観光情報

の発信のほか、新たな都市型農業を推進する機能などを備えた交流拠点施設の整備に向けた調査を行う。

※平成 30 年 11 月に市制施行 60 周年を迎え、11 月 3 日に記念式典を開催する予定。

市民の皆様と協働により、さまざまな記念事業を展開する。

なお、この 60 周年をひとつの契機として、バスケットボールチーム、大塚商会アルファーズを母体とする B リーグクラブ発足に向け、市民に愛されるチームとなるよう、魅力発信・PR などの支援や、交流・連携に取り組んでいく。

これまで掲げてきた「安心度埼玉 NO.1 の越谷」と「市民が誇れる越谷」の 2 つの基本理念に、持続可能で元気な越谷を創造するため、新たに「いきいき活性化する越谷」を加えた 3 つを基本理念とする。

今 1 番の問題は、私個人的ですがふるさと納税だと思います。橋本会員によると越谷市は、約 627 万円に対し他自治体に約 2 億 5 千 7 百万円が出ているみたいです。ふるさと納税の過激な返礼品が、各自治体で勝ち負けが発生する原因となり、色々な問題だと思います。最後に自分の住んでいる市がいくらの予算で何をしているか知ってほしいと思います。以上で本日の卓話を終わります。

幹事報告



大島 直幸 幹事

・地区よりフェアトレード講演会開催のご案内が届い

ております。開催日時は 5 月 19 日(土)、場所は浦和コミュニティセンター第 14 集会室(浦和パルコ 10F)で行います。募集締め切りが 5 月 12 日となっておりますのでご興味のある方はよろしくお願ひします。

・南クラブ、東クラブ、中クラブより今月の例会予定が届いているので掲示しておきます。

・当クラブ次年度、お世話をする米山奨学生の方が決まりました。カウンセラーは木村会員にお願いしています。

・吉澤エレクトは 14 日の土曜日に退院をします。まだ辛いようですので自宅療養をしているという連絡がきています。

3 分間ロータリー情報



ロータリー情報委員会 松崎 義一 会員

弘前アップル RC の関場慶博さんが書いたポリオの内容です。

「私がポリオ撲滅活動を続ける理由」

40 年前、西アフリカ・ガーナの街通りで、路面を這いながら、行き交う人々にお金をねだっている下肢が麻痺した子どもたちと出会った。国際協力事業団から小児科医療専門家として派遣された私は、栄養失調称、マラリア、破傷風、腸チフスなど、日本では見たことがなかった病気と出会う毎日だったが、とりわけポリオとの出会いは衝撃的だった。クワシ君という 12 歳のポリオサバイバーと私は仲良くなった。彼は松葉づえで敏捷に動くことができ、サッカーが大好きだった。麻痺した足だったが、少し残存した運動機能でボール

をкаろうじて蹴ることができた。「ガーナの子どもたちが僕のようにポリオにならないようにしてほしい。約束してね」「わかった、約束する」

私は 2001 年に初めてインドでのポリオワクチン投与活動へ参加した。その後、日本の多くのロータリアンと共に今日まで毎年参加している。初めてインドのスラム街でポリオワクチン投与を行った時、トイレもない糞尿垂れ流しの衛生環境下ではポリオ撲滅は無理だと思った。それでも毎年ワクチン投与活動へ参加していたのは、クワシ君との約束を守るためだ。ガーナまでは行けないが、インドでポリオをなくし、世界からポリオをなくすことはガーナの子どもたちをもポリオから救う事になるのだから。国際ロータリー(RI)は「子どもたちの命と未来を守る」と、世界の子どもたちにポリオ撲滅を約束している。

困難だと思われていたインドでのポリオ撲滅が 2014 年に達成された。これが世界のポリオ撲滅活動に希望と勇気を与えた。諦めずに皆で協力しあえば不可能なことはない、夢を諦めない、このことを改めてインドでのポリオ撲滅活動から学んだ。ロータリーの夢「ポリオ撲滅」、その達成まであと少しである。

委員会報告

次年度クラブ運営部門 本間 睦人 副委員長

例会終了後 13:40 から次年度クラブ運営部門合同委員会を開催致します。夜には奉仕部門がありますので、忙しいと思いますが次年度に向けてご協力よろしくお願いします。

親睦委員会 大濱 裕広 委員長

来週 4 月 18 日は親睦旅行のために、例会場での例会はありません。親睦旅行に参加される方は北越谷西口に朝 8 時集合をお願い致します。

プログラム委員会 江口 公晴 委員長

来月 5 月 27 日ですが、例会変更でごみゼロ運動になっています。ごみゼロ運動終了後に、ポルティコホールにて柔道の山下泰裕氏の講演を行う事が決定しました。詳細は追って連絡致します。

次年度幹事 中澤 伸浩 会員

・今週の金曜日 4 月 13 日は地区研修協議会が開催されます。場所は大宮ソニックシティ大ホールです。出席される方はよろしくお願い致します。

お客様卓話

「子供が売られる問題について」



認定 NPO 法人 かものほしプロジェクト

広報・ファンドレイジング担当 草薙 直基 様

我々が扱っている問題は女の子の性に関する問題です。そのため、日本のメディアさんでは取り扱い辛い内容になっています。そこで私たちは直接講演という形でお伝えしています。ロータリーさんには大変お世話になっていて、年間 50 回ほど講演を行わせて頂いています。

女の子たちが大人たちに性的な行為を強要される場所を売春宿と言います。この環境で仕事を強いられている女の子たち。若くても 10 代後半とされています。映像ではもっと小さい子たちに見受けられると思います。5 歳と 9 歳の女の子もいて、現地ではペドと言いまして、小さい子たちを性の対象としかできない大人たちを相手にしています。女の子は救出されて

も、また今度嫌なことが起きるのではないかと混乱を起こして泣いています。救出されたあとにインタビューに応じてくれた女の子もいます。彼女がどういう経緯で売春宿の仕事をするようになったという、両親に十分な収入がなく、長女という責任感から仕事を探したとのこと。仲介業者に「カンボジアのカフェで仕事があるよ」と紹介され、だまされて売春宿に連れて行かれました。そこで毎日知らない男の人たちを相手にする日々が続きます。最後にレポーターさんが「1日何人相手にしていたの？」と質問していますが、彼女は「多すぎて覚えていません」と答えています。ぞっとする話ですが、女の子たちが一日に相手にする数は2, 3人という話ではなく15~20人の相手をしています。世界には依然としてこのような問題が存在しています。我々かものはプロジェクトはこのような問題をなくすために活動している団体になります。

今回はインドに比重を置いて話をさせて頂きたいと思います。実際今までどういうことに取り込んできたかという、前回お話したカンボジアに関しては、カンボジア現地の警察支援を行ってきました。ご存知の方も多と思いますが、カンボジアはもともとポルポトという独裁者のもと、知識層の大量虐殺が行われていた国です。それに付随した内戦が色々なところで行われていた国でした。つい20年ぐらい前までは戦争が沢山起こっているようなところ。そのため、国のお金が軍事費に使われていて、警察をトレーニングするためのお金が充分でない状態ができていました。警察の能力が低い状態のまま、法律がそもそもわからない人がいたり、取り押さえ方がわからない人がいたり悲惨な状況でした。売春宿のオーナーの人は自分が悪い事をしていると自覚しているとわかっている人も多いですが、儲かるために行っています。警察も能力が低いために、捕まるリスクがほとんどなく運営ができてしまっていました。そういう状況なので、売春宿の運営者が増えていました。そこで私たちは現地の内務省と提携して、警察の能力向上に努めて来ていま

す。具体的には法律の勉強を研修で行ったり、実技のロールプレイングの研修を考え資金提供などを行ったりしました。その結果、2001年から2010年までの間のカンボジア国内における逮捕者が右肩上がりに伸ばすことに成功しています。この数字に反比例する形で被害者も右肩下がりで減らすことができます。この傾向は続き、どんどん良くなってきています。我々のひとつのゴールとしては、被害者をゼロにすることがベストなのですが、一人までなくすことを追求するよりはちゃんと法律が整備され、実施される状態、さらに女の子をケアする状態ができあがった状態を目指しています。カンボジアでの状態が落ち着いてきたので、次にインドを支援しています。

インドでは貧富の差など、いろいろな問題が強く残っている国です。私たちがインドを選んだ理由としては、この国で人身売買の被害にあった女の子たちの社会復帰が非常に困難な状態になっているからに集約されます。インドはそもそも、女性蔑視の風習がいまだに根付いています。性別が女性であるだけで、身分を低い物としてみる傾向があります。例えばですが、妊娠中に性別を検査する行為が禁止されています。なぜなら、身ごもった子が女の子だとわかった瞬間に、この子は苦勞すると考えるお母さんが子供をおろしてしまうからです。もう一つはダウリーという結婚制度があります。結婚する時に、女性の家系から男性の家系にお金を納める制度があるのですが、その金額が小さかったりすると男性の家系から嫌がらせを受けます。ひどい話になると金額が小さいという理由だけで殺されることも起こっています。そういうところでも女性の生き辛い文化になっています。それに加え、性産業にかかわったことがある人は、身体を穢した汚らしい人として扱われてしまいます。運よくレスキューされて村に戻れたとしても、仲良くしていた友達が無視をしたりだとか、夜に寝ているところを見知らぬ男性たちに殴られたりとか村八分状態になってしまっています。そのため、精神的に参っている女の子たちが

物凄い数いることがわかっています。そのために、2012 年から私たちはインドでの活動を行っています。

ここで私たちが一度実際に助けたサリナという女の子について話します。彼女はもともとインドのウエストベンガルという貧しい農村地帯に住んでいる女の子でした。両親は共働きでしたが、十分な収入がなく、さらにサリナは 7 人兄弟の長女であったため、弟や妹たちを学校に行かせたいために自分も働こうと両親に内緒で仕事を探していました。そうした所、どこからか情報を聞きつけた彼女のいとこの女性が声をかけてきました。いとこの家に招かれたところ、薬入りの飲み物を飲まされ意識を失ってしまいます。しばらくすると、電車の音が聞こえてきて目を覚めますのですが、目を開けると知らない電車の中に知らない男性と乗っていました。サリナは状況を理解するために男性に質問をしたところ、いとこの女に騙されて売り飛ばされたことがわかりました。そしてインドのムンバイにある売春宿街に到着し、その中のひとつに連れていかれて現実を知りました。すぐに受け入れられたわけではないが、その場でいとこに騙されて売り飛ばされたという事を実感したようです。部屋のスペースは日本のお布団と同じぐらいのスペースぐらいしかありません。そのような部屋に彼女たちは押し込められます。夕方 17 時ぐらいになるとその扉を開けて、知らない男の人たちが入ってきます。それが朝方の 5 時、6 時まで続けられ、お昼ぐらいまで休み、また夕方から知らない男の人たちが入ってくるという環境です。彼女は不幸中の幸いとして、現地のレスキュー団体に発見されて、無事村に戻る事ができたのですが、村に戻っても一件落着ではなく、村に戻っても地獄が待ち構えていました。性産業にかかわった彼女は村人たちからも虐げられるようになり、サリナは閉じこもってしまう状況になりました。

インドという国における人身売買における被害ルートは地図を見ると一目瞭然です。いろいろなところか

ら一つのエリアに向けて売り飛ばされている状態です。一番多いのは、サリナが売り飛ばされたインドのムンバイというところになります。ムンバイは経済の発展が著しくそれに合わせ人口が集中するゆえに裏路地に入ったりすると性産業が盛んになっています。そのような中最大のルートがどこかという、サリナが住んでいたインドのウエストベンガルというエリアからムンバイへのルートが一番多いことがわかっています。ここがインド最大の人身売買ルートです。インドのこの問題には何人か関わっているの、説明します。まずサリナみたいに被害にあう女の子がトラフィッカーという役に連れて行かれます。彼らは女の子を誘拐することを仕事にしています。サリナのストーリーで言うと、いとこの女の子と電車で同席していた知らない男の人がトラフィッカーにあたります。そのあとに売春宿のオーナーに連れていかれ搾取されます。色々調査したところ一つの大きな数字が出て来ています。ウエストベンガルにおいて、女の子たちは誘拐された件数に対し、トラフィッカーをどれだけ有罪にできているかですが、360 件の事件のうち有罪にできたのがたったの 5 件だけだという事がわかりました。この数字が何を表しているかという、トラフィッカー達の無法地帯という事を表しています。そこで、有罪判決数を高めていく事が出来れば抑止力を働かせていづれこの問題を無くすることができるのではないかという事が見えて来ます。カンボジアと違い、世界第 2 位の人口を誇るインドでどの程度成果をあげる事ができるだろうという壁にあたっています。インドではこのような壁にあたっている一方で、このような問題を解決しようとしている現地の NPO 団体が沢山います。私たちは現地の NPO 団体と協力してこの問題を無くそうとしています。サリナみたいな女の子が増えているので、これからもがんばって行こうと思っています。この問題に関してご清聴頂きありがとうございます。



スマイル報告



・かものはしプロジェクト草薙様、保坂様、ようこそ。本日の卓話よろしくお願ひします。

長谷川真也、大島直幸、堀野真孝

松崎義一、大熊正行、市川洋和

・先日の地区副幹事の集まり、予定者の皆様お疲れ様でした。

宮崎敏博

・今月 26 日の午後 5:00 からモンゴル経済セミナーを開催致します。ご興味のある方はぜひお越しください。

関森 初義

・結婚祝い、ありがとうございます。

石井知章

・世界平和のために。

一柳昌利、高橋忠克

出席報告

会員数	53 名
出席免除者	14 名
出席者	36 名
出席率	78.3%

第2回越谷少年柔道大会



「異なる地域の柔道の少年・少女が柔道大会を通じ、心身の鍛錬と健全な育成をはかり、将来の日本柔道を背負って立つ人財の輩出と交流・親睦を深めることが出来た柔道大会であったものと思います」

2047回例会 浪江RC合同移動例会

合同移動例会ダイジェスト版

4月18日(水)
(北越谷 8:00)



後部座席では、酒盛りが始まっています。



皆の輪に入らないで仕事をする新沼会員

↓
(浪江町・桜並木散策 12:10~12:30)



桜は散ってしまいましたが、綺麗な場所でした。



ビールのCMをしている俳優さんかと思ったら木村会員でした。



(浪江町内視察 12:30~13:00)



この先の何もない平野、震災前は住宅街だったそうです。この状態でも大分復興が進んだみたいです。



震災被害者の慰霊碑を見学しました。ご冥福をお祈りいたします。



(サッポロラーメンたき 13:00~13:45)



ラーメンは食べられませんでしたでしたが、とても盛大な昼食となりました。魚は店主さんが釣ってきたばかりだそうです。なみえ焼そばもとても絶品ですぐに無くなりました。



(ウェディングプラザ如水 13:50~14:00)



「希望」の記念碑の前で記念撮影です。



(いわき湯本温泉 15:30)



素敵な笑顔の大熊会員



合同例会が始まりました。浪江RCの会長挨拶です。



例会後の懇親会では、お互いに親睦を深めました。



最後は「手に手つないで」です。



JRA競走馬総合研究所では忘れられない思い出が出来ました。それはバスの接触事故です。ここで、大きく予定が変更されました。

4月19日(木)

(JRA競走馬総合研究所 9:15~10:50)



↓
(いわき・ら・ら・ミュウ 11:30~12:20)

お土産を購入しました。



(小名浜オーシャンホテル 12:40~14:25)



浮力を利用したトレーニング(リハビリ)です。



海とゴルフ場が見える素敵なホテルでした。



(北越谷駅西口 17:50頃)

2日間の親睦旅行もここでおしまいです。
越谷北RC・浪江RCがクラブ内だけでなくお互いのクラブで親睦を深められました。